

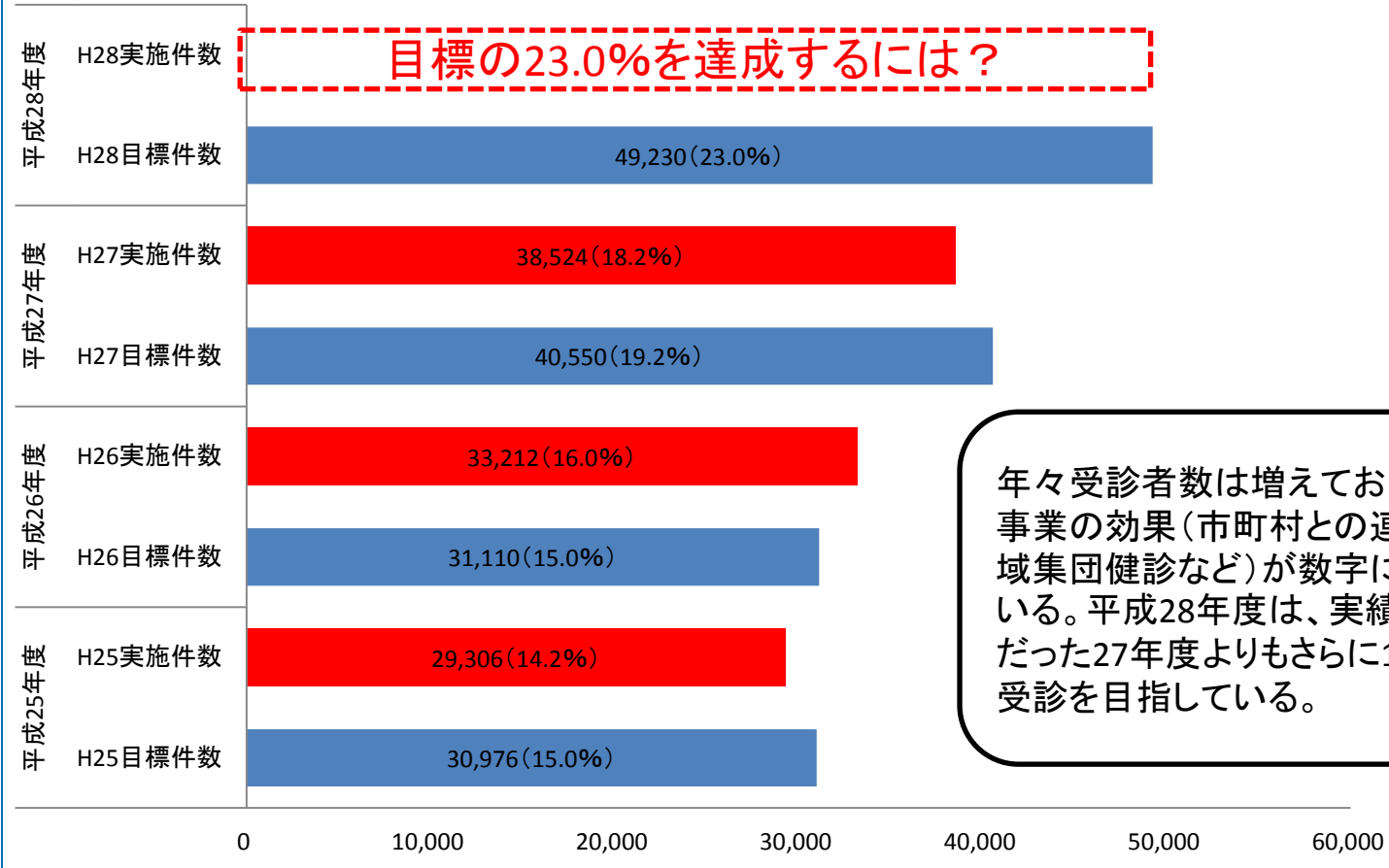
福岡支部被扶養者の特定健診 受診率向上を目指した戦略

－平成28年度パイロット事業－
～GISを活用し、行動科学に基づく動作指示を強化する取り組み～



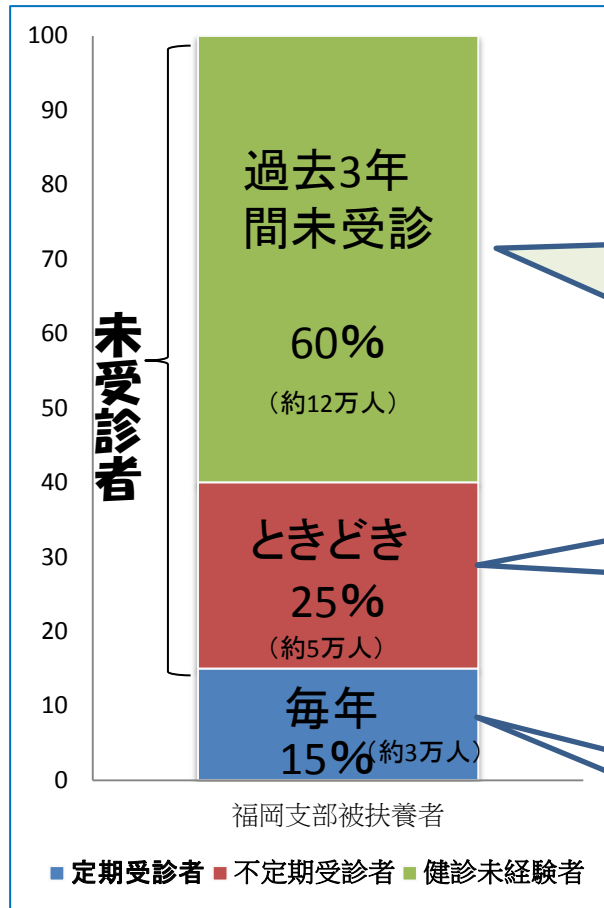
過去3年間の動向と今年度の目標値

特定健診(被扶養者)の目標値と実施数



特定健診受診率向上を目指した戦略（手段；通知文）

健診未受診者は皆同じ？



福岡支部の過去5年間（平成22年度～平成26年度）の被扶養者データ分析より

健診未経験者（過去3年間に1度も健診を受けていない者）の特性を分析した仕掛け

⇒平成28年度パイロット事業

（GISを活用し動作指示を強化）

この集団に対し、「通知」という手段で受診を促すにはどうすればよいのか？

不定期受診者の特性を分析した仕掛け

⇒平成27年度パイロット事業

（ソーシャルマーケティングの手法）

毎年受診している群については、年度初めの案内で十分



健診未経験者の特徴（受けない理由）

◆平成27年度；大型ショッピングモールで協会けんぽ福岡支部単独の集団健診を実施した際のアンケート調査結果より

毎年特定健診を受診されない理由を教えてください。（複数回答）

①時間がない	②特定健診を知らなかった	③別の健診を受けた	④健康だから	⑤忘れていた	⑥検査項目が少ない	⑦健診に時間がかかりすぎる	⑧申し込み方法がわからなかった	⑨その他	合計
59	51	69	28	85	9	7	22	30	330
17.9%	15.5%	20.9%	8.5%	25.8%	2.7%	2.1%	6.7%	9.1%	100.0%

きっかけの提供が必要！
個別再勧奨の効果は自治体で検証済み

参考

◇H26年度 協会けんぽ山形支部調べ（酒田市543人）

1位；病院受診中（68.0%） 2位；パート先で受診（23.4%） 3位；費用の負担感（8.6%）

◇H26年度 協会けんぽ福島支部調べ（全被扶養者73,799人へのアンケート調査より；回答3,148件 4.26%）

「今年度の特定健診を受ける予定がない（約24%）」と回答した理由

1位；病院受診中（54.7%） 2位；他の健診を受ける（26.9%）（うち勤務先の定期健診44.4%） 3位以降はいずれの理由も5%以下

◇厚生労働科研「未受診者対策を含めた健診・保健指導を用いた循環器予防のための地域保健クリティカルパスの開発と実施に関する研究」より（平成24年6月27日厚生労働省保険局総務課 医療費適正化対策推進室 「今後の特定健診・保健指導の実施率向上に向けた方策について」より引用）

1位；病院受診中（37.4%） 2位；健康だから（24.6%） 3位；忙しい（17.9%）

* 全対象者25,080人（うち国民健康保険18,156人）



全国健康保険協会 福岡支部
協会けんぽ

再勧奨通知文書のポイント

義務感の醸成

健診は受けるものという考え方の醸成

機会の限定

「〇月〇日」まで、
という機会を限定

強化

動作指示

病院検索は面倒
⇒近距離の病院
提示
(2機関)

近距離の病院をどう提示するか？

- 正確に
- 手間や時間をかけずに
- 大量の未受診者に
- 複雑ではない方法で

GIS (Geographic Information System) **活用**



全国健康保険協会 福岡支部
協会けんぽ

昨年度の再勧奨ハガキ(サンプル)

表

料金後納
郵便

転送不要

郵便はがき

□□□□□□□□

義務感の醸成

機会の限定

動作指示①

動作指示②

GISを活用し、近距離
健診機関を提示

全国健康保険協会 福岡支部

裏

特定健診受診 勧奨通知書

特定健診は、国が定めた健康診断です。8月末時点で、まだあなた様の今年度の受診を確認できておりません。期限が限られています。お早目にご受診ください。現在治療中の方も対象となっております。

※すでに受診済みの方は、この案内は行き違いにつき何卒ご容赦下さい。

健診の
検査内容



8,000円相当の検査が、**1,380円以下**で受けられます。

受診期限: **平成28年3月31日(木曜日)**まで
※3月の年度末は大変混み合いますのでお早目にご受診ください。

健診機関(県内約2,300か所): **事前に予約が必要です**
※受ける健診機関で費用が異なる場合がありますのでご確認ください。

健診当日ご持参いただくもの ☐ 特定健診受診券 ☐ 健康保険証

健診機関は、スマートフォン・パソコンで検索できます

www.kyoukaikenpo.or.jp

協会けんぽ 福岡 家族 で 検索

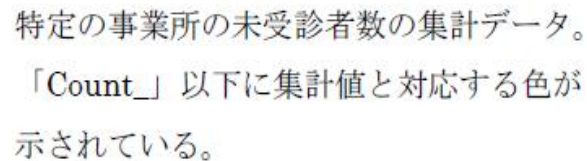


ご不明な点は
お電話で!

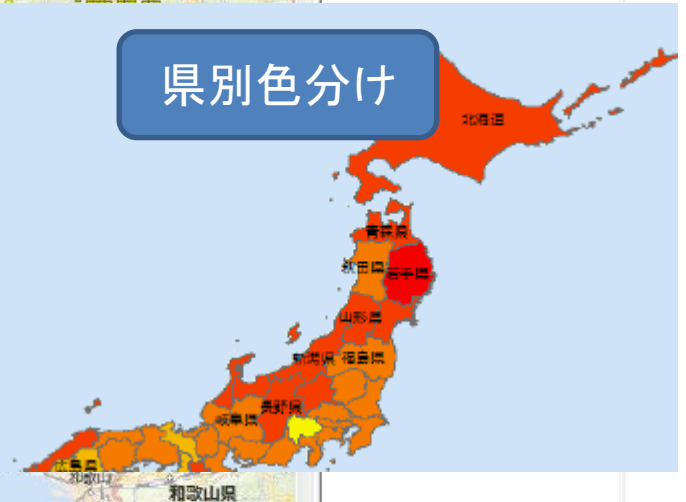
☎ **092-283-7621**

〒812-8670 福岡市博多区上呉服町10-1
博多三井ビル8階 保健グループ

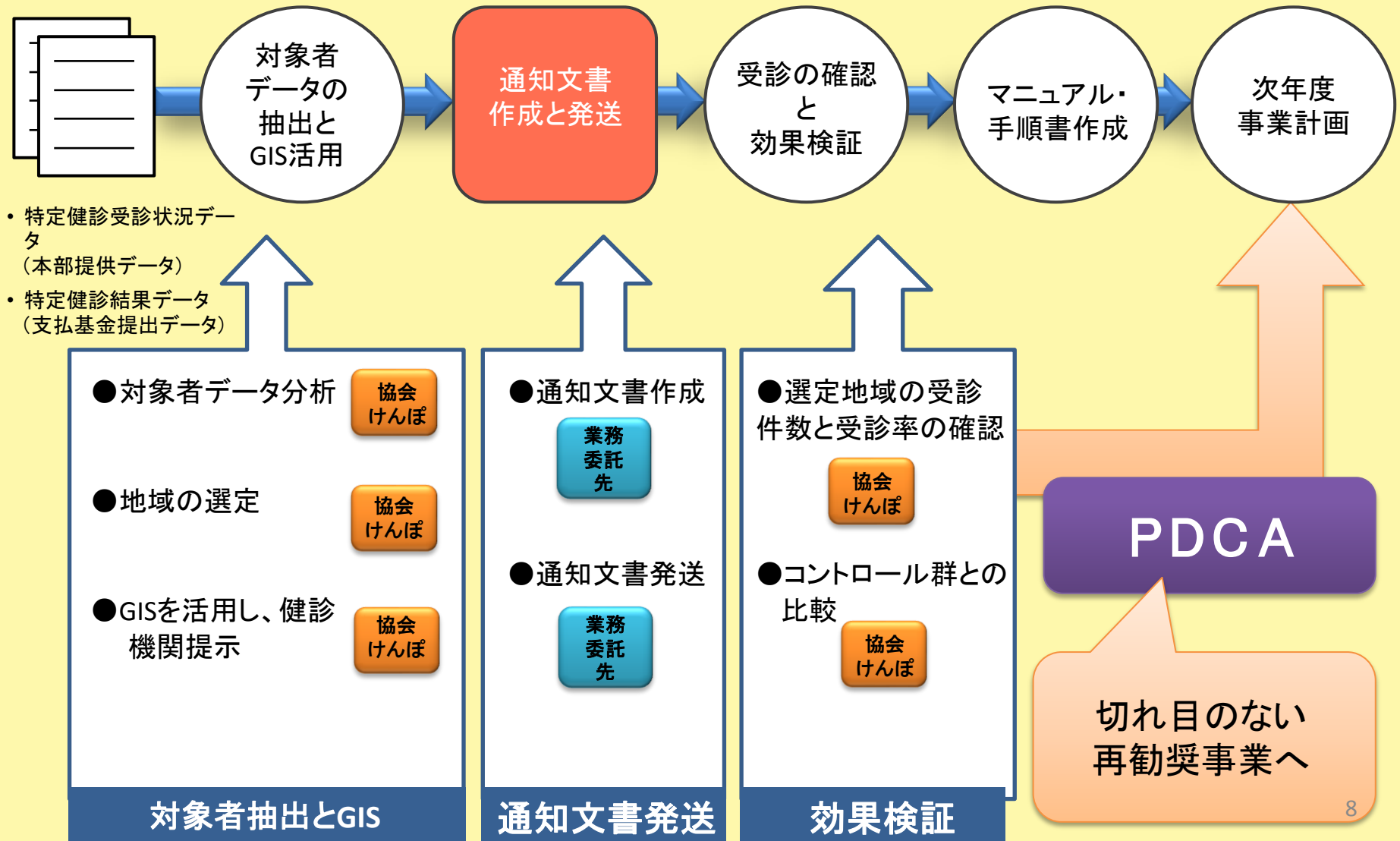
データをシステムに取り込むと地図上にプロットされる



県別色分け



全体的な事業の流れ



調査デザイン

H28年度GIS活用パターン調査デザイン
調査対象者; 40,000人

4月: 受診券送付

9月時点の未受診者を抽出

GISを活用して対象者を抽出

量的未受診者地域選定

H27年度パイロット事業で効果を検証(通常の保健事業として継続)

不定期受診者

A B C D

リーフレット送付

健診未経験者 35,000人

GISを活用し近距離の健診機関を指示

再勧奨ハガキ送付
(動作指示強化)

《近距離健診機関について》
案1: 自宅から一番近いA機関の情報を提供する
案2: 自宅から一番近いA機関、B機関の情報を提供する

5,000人

勧奨なし

コントロール群

年度末に全体の受診率を確認

効果検証

期待される効果

パイロット事業で大切な4つの視点をすべて達成できる可能性が高い

第一;効果が期待できる(加入者の利益)

- 受診行動における科学的根拠(エビデンス)がある。
- モデル的に行政で実施された事例があり、健診未経験者の受診率向上等の効果が検証されている。
- 大規模集団に実施されるため、全体の受診率に影響し、将来的な医療費抑制につながる。

第二;広汎性がある

- 支部の規模に左右されない事業である(どの支部でも効果が期待できる)。
- 市町村とのセット健診が進んでいる支部でも進んでいない支部でも実施可能な事業である。
- 再勧奨事業以外の事業にも展開できる(例;重症化予防事業など)
- 支部の特徴に合わせた事業が可能(特にメッセージ内容など)である。

第三;手間がかからない

- 現在協会けんぽで有している情報で実施可能な事業(人、データ、PC等)である。
- 事業の流れに慣れたら、セット健診が多い支部でも1年を通して切れ目のない勧奨が可能である。

第四;大きな費用がかからない(加入者負担を最小限に)

- 特別高価な物を必要としない。